

森のいのち SUZUKA

編集・発行 萩森繁樹
〒513-0012 鈴鹿市石薬師町354
090-4269-0965

かんぐりOB作



署名した
人の心を
踏みにじり
またもや立つか
末松則子

市民の声を聞かない市長は要らない！



末松市長は4期目出馬を表明したけれど、3つの法令違反
森の木を切る、市長はいらない。

- ①法令遵守違反
公園利用者、市民や市議会にもはからずに計画を進めたことは、「鈴鹿市コンプレックス(法令遵守)推進大綱」違反です。
- ②都市公園法違反
スポーツや地域の振興などという口先だけの公益性を理由に「森の木を切る」ことは、公共の福祉の増進に資することを目的した「都市公園法」違反です。
- ③営利企業への利益供与
スタジアムの建設事業の波及効果も推計せず、貴重な公共財産をタダで貸すことは、特定営利企業への利益供与を禁じた地方自治法違反です。

(橋詰圭一)

末松市長 10のあやまち

- 1 気候危機が叫ばれている時に、森の木を切るなんてもつてのほか。
 - 2 ましてや青少年の森は50年かけて育ててきた動植物の宝庫。いったん壊したら元には戻りません。
 - 3 ここにサッカー場を作るなんて寝耳に水。公園利用者、市民の声を聞かない市長は、市長の資格なし。
 - 4 サッカー場を作れば町がにぎわうだって？そんな良いことなら初めから市民に相談すればいいのに。密室で決めたのは自信がないから。
 - 5 自己資金もないノーマーク・アンリミテッドにまんまと騙されて、県の土地をタダで借りてやった。
 - 6 金がかからないはずのウソ。事業が破綻したら鈴鹿市が税金で現状復旧。そんな大事なことを一存で決めた。
 - 7 「私は単なる仲介役」もウソ。ノーマーク・アンリミテッドのため、知事に頼み込んだのはあなたです。
 - 8 サッカー場作るなら県営鈴鹿スポーツガーデンの改修が最適。なのにはじめから選択肢に入れていない。
 - 9 110000筆の署名を無視。市民に対してまともな説明は一回もなし。
 - 10 このような愚策で鈴鹿20万市民に無用の対立をもちこんだ。そのことに全く反省がない。
 - 《追加》
11 工事の見通しもないのに公園をフェンスで囲み、半年以上も放置。ノーマーク・アンリミテッドに撤去を言えない市長は鈴鹿市の恥。
- 以上のことから末松市長には、鈴鹿市長としての資格がないことを、ここに宣言します。

(吉田一男)



市長はスタジアム計画中止を決断し、直ちにフェンスの撤去を!

9月末までという約束は破られた。それでも「前向きな計画進行の話を受けた」と言い、どこまでもアンリミテッドを擁護する末松市長

9月6日の鈴鹿市議会ですぽー
ツ部長は「9月中には株式の譲渡
先も決まると聞いている」と答え、
末松市長も「どこまでもついでい
くとは言っておりません。9月末
の運営事業者の返事を待つて決
めるということですよ」と確かに言い

ました。ところが9月末に
なっても何も決まっていない
ことが新聞報道で明らかと
なりました。
左の中日新聞の見出しでは
新たな株主が決まったかのよ
うな印象を与えますが、本文
中では「企業四社に移譲する

鈴鹿ポイントゲッターズ運営



市長への報告後に会見する三浦氏と吉田氏（鈴鹿市役所）

株式98%を4社に移譲

監督らが鈴鹿市長に報告

日本フットボールリーグ（JFL）の鈴鹿ポイントゲッターズ（鈴鹿市）の運営会社アンリミテッドが、全株式の98・5%に当たるオーナー所有分を企業四社に移譲する方向で準備を進めていることが分かった。代表取締役GM兼監督の三

浦泰年氏らから二十八日に報告を受けた末松則子市長が、記者団に明かした。オーナーの発言を機に二〇二〇年のリーグ戦でチームに対する役員による意図的な敗退行為の指示があり、発覚後の今年六月、Jリーグから準加盟に相当す

る「百年構想クラブ」の資格失格を受け、権限分散など組織統治の改善を迫られていた。企業側と本格的な協議を進めて株式移譲を終え、十一月末が期限となる再申請に臨む。

県営公園「鈴鹿青少年の森」で計画するホームスタジアムの建設は、このオーナーが経営する広告関連会社ノーマーク（東京）が主体となつて進める方針で、三つの金融機関から融資を受ける見通しという。末松市長は「前向きな計画進行の話を受けた」と評価した。

一方、三浦氏ともに見たノーマークの吉田雅一取締役は、現場工事が当面は本格化しないことから十月早々に、建設予定地内の園路が使えるよう工費用フェンスの一部を取り除くことを明らかにした。

（片山健生）

中日新聞 9月29日

方向で準備を進めていることが分かった」となっています。
伊勢新聞は「新たな株式の譲渡先は4社で地元企業はなかった」「吉田雅一氏は『オーナーを希望する企業は複数あり、現在は具体的な話を進めている段階』と株式譲渡について言葉を濁した」と書いています。

これらの報道からわかることは、9月中に株式の譲渡先が決まるといふ約束は守られなかったということですよ。

にもかかわらず末松市長はまたもや「前向きな計画進行の話を受けた」と評価したとのこと。前代未聞の八百長疑惑、それによるJリーグ歴史始まって以来の資格停止処分、しかも自己資金なし、8億円調達の見通しなし。市長は、アンリミテッドに対する見通しが甘かったことに気付くべきですよ。

この問題に詳しいある人（ハンドルネーム「某氏」）はツイッターで「スタジアム建設費について融資を受けられていない、審査



もこれから』って、鈴鹿ポイントゲッターズ側が1月に市へ出した『融資を受けられることとはほぼ決まっています』って文書は何だったんですか?」と疑問を呈し、「鈴鹿ポイントゲッターズと同じような事を、鈴鹿市と協定や契約を締結している指定管理者なり委託先が言ったとしたら、普通は協定解除や契約解除に向かつて動き出すよね? 少なくとも再審査のフローには入るから鈴鹿市も市長も甘すぎだろ。」と厳しく指摘しています。

もはやスタジアム建設は誰が見ても不可能。にもかかわらずアンリミテッドの度重なる約束違反に目をつぶり、市長は「ずる」と判断を先延ばしするばかり。

市長は市民の代表であるならば、この様な計画は勇気をもって中止すべきです。工事の見通しもなく設置されて4か月も放置したままのフェンスは直ちに撤去させるべきです。少なくともウォーキングコースはすぐに開けてください。（9月30日 記）

9月30日(金)4人で市役所を訪れ、署名を手渡しました

9月30日、青少年の森を愛する会のメンバー4人が市役所を訪れ、9月分の署名を手渡ししました。署名はこれまでの分と合わせ1万1184筆になりました。その後スポーツ課の田之上氏ら担当者と面談しました。

新株主はまだ 決まっていない

新聞報道の内容を確かめたところ、やはり新株主は決まっていないようです。「11月までに正式な手続きが終わったら報告に来ることになっている」とのこと。



● サッカーチームは問題を起こしており、いいチームじゃない。応援できない。

11月末に100年構想クラブの申請をし、早ければ2024年4月からJ3としてスタートすることになる。それまでにスタジアムが出来ている必要がある、との説明でした。

国葬と同じ 議論せずに決めた

参加者の「カワセミ」さんは青少年の森公園で集めた市民の声を代弁しました。

● 国葬と同じ、議論せずに決めた。けしからん。
● 鈴鹿はモータースポーツの町。カーボンニュートラルの時代にすぐ隣にある森の木を大量に切ってしまうのか。
● サークिटが出来て、それから人々が住むようになったからF1については文句が言えないが、サッカー場については先にそこに住んでいる人に物をいう権利がある。
● 口には出さへんけど反対の人おると思うよ。すでにサッカー場があるのにムダなことはせんほうがええ。

● ほんとうにサッカー場をつくりたいなら市役所の職員の給料やボーナスを削って造ったらどうや。

フェンス開門は

10月3日(月)

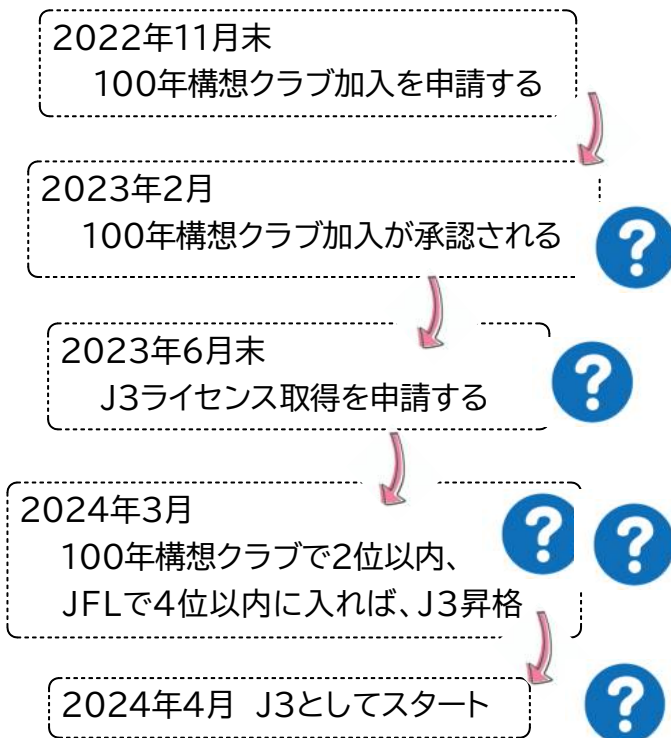
9月議会で市長が約束したフェンスの開門について訊きました。10月3日だそうです。私たちの開門予定日(10月2日)には間に合いませんが、ともかく森の中を歩けるようになったことは歓迎です。

(9月30日記)

署名はその後も増え続け、10月末で11329筆(145筆増)になりました。署名を集め続けて頑張る人がいます。私たちはまだ集め続けます。毎月末か月初めに市長に届けています。署名用紙が必要な方は請求してください。

J3への道、最短で2024年3月というが...

田之上氏の説明によるとJ3入りの道のりは次の通りです。前代未聞の不祥事で、Jリーグ始めて以来の資格停止処分を受けたポイントゲッターズ。Jリーグが簡単に許すとは思えません。疑問符つきまくりです。



この森、守りたい



10月2日、「森の報告集会」と「現地観察会」に20数名が参加

10月2日(日)10時より青少年センターで「青少年の森・報告集会」が行われ20名が参加しました。報告では①鈴鹿市やポイントゲッターズの目論見は、思うようには、いっていない。しかし、したたかである。②これに対する私たちの側は、8か月にわたる工事を止めていると言っているが、全く油断はならない、といった情勢報告が行われました。

参加者からは
●9/28のアンリミと市長の

会見に期待したが、何も進展はなかった。なのに市長は進展があったかのように言っている。

●市長は連帯保証人であり、スタジアム事業が失敗したら鈴鹿市が責任を負う危険な仕組みだ。

●公文書開示で、県と市が会議をした場所が、両者で食い違っている。こんないい加減なものかとおきれる。

●石田議員の質問を市長派の議長がさえぎったのは許せない。

●電力会社のカーボンニュートラルの取り組みを鈴鹿市は評価し

ている。その一方で森の木を切るというのは全く矛盾している。

●森の値打ちを市民の感情に訴えることが大事。市民を味方につけるその力で計画を止める。

●シラタマホシクサはスタジアムが出来たら絶滅の恐れがある。そのことをもつと知らせたい。

●スタジアム計画は不可解なことが多すぎる。Jリーグがないのは5県だけで、三重に作れば儲けのチャンス。東京の会社が市長を丸め込み土地をタダで入手。「お金はある、市はお金要りません」と言ったが、お金のめどはたっていない。スタジアムはできないし、ここに作らせてはならない。

そのあと現地で観察会。赤嶺さんがわかりやすく解説をしてくれました。

最後にフェンスの前でまとめの集会。「200人の市民を集めて、市長と面談しよう。市長には青少年の森の値打ちを訴えよう。このすばらしい森を守るといふ運動の原点に立ち返ろう」と萩森さんが呼びかけました。(10月2日 記)



絶滅危惧種「シラタマホシクサ」の前で赤嶺さんの説明を聞く参加者

10月3日（月）工事用フェンスは、ついに開門された！



10月3日昼ごろ 開門工事中



10月3日午前 開門前



10月3日午後 ついに開門

やっと開門、次は撤去と中止だ！
5月に設置されたものの、いっこうに工事は始まりず、放置されたままのフェンス。私たちは「フェンスを撤去せよ。まずは通路をあげよ」と申し入れてきました（7月27日「柵の開門と森のキノコを愛でる要望書」別項。その後、何度も要請）。設置から5か月たって、ついにフェンスは開門されました。

さっそく歩いてきた「森の妖精」さんはツイッターで次のように書いています。

開門バンザイ！

朝から怪しい空模様の中、鈴鹿青少年の森に行きました。：「すみませ〜ん、通して下さい」というと、「どうぞ」と合図してくれました。カワセミはいないし、雨は降って来るので、今日はもう帰ろうとぐるっと回って第2駐車場に戻ろうとしたら、ちょうど業者（オオシマ）の車が帰るところでした。開門、バンザイ！ 苔むして滑りやすいところがあるので注意です。

（10月3日記）

ボクたちも棲むこの森全体をこれからも大切にしたいな♡



ボクたちの棲むこの森全体をこれからも大切にしたいな

稲生町在住のグラフィックデザイナーKさんが描いてくれたマスコットキャラクター「七星てんとう虫」

柵の開門と森のキノコを愛でる要望書(抜粋)

鈴鹿市長 未松則子様

鈴鹿青少年の森のスタジアム建設地の不法な囲いの中には絶滅危惧種を含む貴重なキノコが多種生息しています。

しかし、5月9日からのフェンス設置以来全く中には入れず、キノコの生息はおろかその生育環境すら調査できず3カ月が経過しようとしています。

不法・不当な囲い込みによる被害は、キノコそのものからそれを観察したい夏休みに入った子どもたちや愛好者にも広がっています。

即刻、開門して、市民・要望者・愛好者・子どもたちの森の生物を享受する権利を保障してください。

開門の日と時刻をすぐに教えてください。

それと工事もしないのに、景観を壊し、市民を脅す柵は早く撤去させてください。

2022年7月27日

青少年の森のキノコを愛でるグループ
杉谷律子、中村ハル工、萩森繁樹、
宮本英子、吉田一男(アイウエオ順)

裁判の論点・高裁控訴のこれから

内田信也

1 紛争の原因を

作ったのは市長

知事、市長とサッカー



施設開放を検討している。サッカーをはじめとするスポーツ振興や地域活性化などにぎわいと

運営業者の三者が結託して県立都市公園「鈴鹿青少年の森」の10%（5ヘクタール）に当たる中枢部を運営業者に無償で貸与し公園を破壊してサッカー

交流の拠点として一般の利用に供する施設として鈴鹿市に許可を与えた。

スタジアムを建設する計画を県民、市民、公園利用者の意見も聞かず市議会にも諮らず協定書最終後の新聞発表まで知らせなかつたことにあり、再三に

(2)市長は、アンリミテッドに無償貸与しサッカースタジアム建設と運営を行う協定を結んだ。

わたり知事、市長に面談、説明を求めると誠意ある対応に応じなかつた。

(3)この案件は、県が鈴鹿市に公有地の無償貸与取消し訴訟として「原審訴状令和4年(行ウ)第3号公有地無償貸与取消請求」し津地方裁判所は訴えを却下した。直ちに名古屋高等裁判所に控訴した。

2 「無償貸与」の問題点

(1)青少年の森公園にサッカースタジアムを建設するため市長とアンリミテッドは、知事に無償で貸与するよう求めた。

3. 公園利用者を無視している

知事は、鈴鹿市は地方公益団体であり、本件施設の適正な運営可能な能力や財産基盤を有している。サッカー以外の文化

(1)背景

イベントの開催や避難所など防災面での活用積極的な地域への

鈴鹿青少年の森公園は、明治百年記念事業として日本政府主催の記念式典と共に記念事業として開設された

ものであり当時の知事が青少年と樹木の生育を詠んだ言葉がシンボル塔に記されている。公園の名称と詩句から自然環境のもと青少年の野外実習教育の場であり、成人及び高齢者にとっては生涯学習の実践の場としての目的、目標を持って活動している。この公益性の大きい公園利用者の声を聴かず、追い出し破壊を伴う「サッカースタジアム有りき」の計画に私たちは、11,000人を超える署名者を代表して対峙してきた。

この現状を無視し切り捨てようとする市政に対し憲法三原則に基づき市長及び行政が行ってきた行為を「青少年の森を愛する会」として厳しく追及していく責任がある。

(2)訴える理由

① 鈴鹿青少年の森公園の機能・価値の公共性を評価せず、現に利用者を切り捨てようとする人権を無視した行為

② 市民、利用者の声も聴かず、面会もせず、新聞発表が公式発表とごまかす情報操作。

③ 営利業者アンリミテッドに無償貸与とスタジアム建設も業者がやる。タダだから議会にかけなければならない、民主主義の政治の無視

④ 公園利用者を無視し社会悪の八百長企業の肩を持つ発言が常識を逸する。

名古屋高裁で第1回口頭弁論が行われます。

12月16日(金)10:00~

傍聴希望者は車乗り合わせで行きますので(7時出発)、ご連絡ください。

2年前、Jリーグの聞き取りにウソをついた

不作為か偽計か？

令和2年12月17日、Jリーグ百年構想クラブ認定の「Jリーグ担当者ヒヤリング」において、Jリーグ事務局の問に対して鈴鹿市担当者はアンリミテッドに有利な偽りの情報を伝えており、公園利用者の活動並びに話を聴かず無視した発言をしている。

公務員としての説明責任と公園利用者への基本的人権を無視した発言が問題である。

以下はJリーグ担当者ヒヤリング会議（※Web会議）議事録より

Jリーグ事務局の発言

・ヒヤリングのため、答えずらいことも聞きすぎるがご容赦いただきたい。

・もう1点が、新しくスタジアムを建設に当たり、非常に自然豊かであり環境を重視する方々から一部反対運動というような懸念の声が出てくるのではないかと伺っているが、そのあたりはどうか。

鈴鹿市の発言

建設予定地が県営鈴鹿青少年の森公園内で県の施設となる。確かに自然豊かなところであるが、素掘りの地形を生かした計画と聞いており、現在苦情等の声は入っていない。もっと早く計画を進めてほしいとの声が大きいのと思われる。

貸与するがタダにする。

タダだから議会にかける必要はない。市民の意見を聴いていない。聴かない。面会、対話しない。

これらの行為のとは。理由は？その根拠となつている動機は何か・・・疑問が、疑惑が膨らむ。

私たちは日本国憲法に定められている主権者であること。公務員には国民全体の奉仕者であり職務専念義務がある。

私たちは、強い意志と決意（ぶれない心構えと忍耐力）を持って主権者としての権利の行使も視野に入れ追及していく。

2020年(令和2年)12月の時点ですでにJリーグは「自然豊かな環境」「反対運動」などに言及しているが、鈴鹿市は全く無頓着。「もっと早く計画を進めてほしいとの声が大きいのと思われる」などと能天気なことを言っている。



道伯池の下流域の農業に影響はないのか

50年程前の地図、スタジアム計画初期の平面図等を見ると、農業用ため池である道伯池に流れ込む水の流れるは2つあります（公園マップでは分かりません）。1つは希望の池、友情の池からの流れ。もう1つはサッカースタジアム建設予定地内からの流れ。

住吉配水池の左側に僅かに残された（不自然な形をした）森にある谷は、サッカースタジアム建設予定地内の谷に繋がっていて、サーキット道路の下を土管（コンクリート製？）が通っていることを確認しました。

県や市が調べれば分かることだと思いますが、知っていて隠そうとしているのか、どちらにしてもこのスタジアム計画は皆さんでいい加減なものだと思います。

J3規格のスタジアムを造るのに、更地でも16〜18億かかるはず。丘陵を造成すればその分、費用が膨らみます。建設資金8億は銀行融資で、照明設備は後付けですか？本気でJ3規格のスタジアムを望むのなら、既存の施設の改修を考えた方が安上がりだと思えます。

（「森の妖精」さんのツイッターより）



みなさんと力合わせて必ず勝利する

森周辺の歴史から学ぶ

○今日は友人のお父さん隆さん(95歳)にお話を聞きました。戦前前後青年の森の近くで百姓酒屋測量士をしてきました。森の近くで土地(今の青少年センターの建物あたり)を持つていましたので、道伯池で牛の草を刈ったりして暮らしてきました。サーキット

ト道路建設のため山を切り拓いたとき、田の水脈を切られ干あがった田も見てきました。そんな森周辺の歴史から学ぶ見方も大事にしたいし、もっと聞きたいと思えます。

このページは「ハギー」のツイッターより引用しました。

自治会の了解は得られていない

○遅まきながら公園周辺の自治会長さんをまわり始めました。自治会長さん曰く、去年3回アンリミテッドの吉田に会った。水利権があるので排水のことを何度も言った。まだ何も話しては進んでいない。スタジアムは御園のガーデンでいいし工事せんならバリケードはいらん。新しい社長は一度もやって来ない。周辺の自治会の了解を得たと市関係者は言うが、きちんと地元との詰めはされていない。

ありがたい応援者

○今まで集会やスタンディングに参加して名前を残して下さった160余名の方には「森のいのち」通信を月1回ペースでお送りし、一方カンパを寄せて下さる方も多い。このK動物病院の院長先生は署名と共に毎回5000円、1万円と入れて下さりトータル5万円は超える。【写真】はその病院の受付です。



赤嶺さんと森の観察会

11.23 (水、祝日) 9:00~11:00

集合;道伯池近くの藤だな

毎回好評の森の観察会です。森のすばらしさを満喫してください。

